

介護保険制度改悪ふたたび 抜本改善運動を出足早く

新介護署名キックオフ集会

2024年7月30日(火)18時～19時
完全オンライン

4月から訪問介護の基本報酬が引き下げられ、訪問介護事業所は倒産が急増し危機的な状況です。介護保険料は4月から引き上げられ月額平均6225円。大阪市は9000円を超え悲鳴が上がっています。

まさに、介護保険制度は「崖っぷち」です。

そんな事態にもかかわらず、政府は私たちが運動で押し返した「介護利用料2割負担の対象拡大」、「ケアプランの有料化」、「要介護1・2の生活援助など保険外し」などの大改悪を再び2025年から議論の俎上にのせ、2026年の通常国会に改悪法案を出そうとしています。

「介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度」にしていくために、抜本改善運動を出足早く踏み出しましょう。

■スケジュール（17時30分 受付開始）

18時00分～開会

18時05分～介護保険制度をめぐる情勢報告
全日本民医連事務局次長 林 泰則さん

18時35分～各地のたたかい・実態報告

18時50分～行動提起

19時00分～閉会



■参加は Zoom ミーティングのみ

主催：全日本民医連／全労連／中央社保協

問い合わせ：中央社保協 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5階

電話03-5808-5344 / ファックス03-5808-5345 / 代表メールk25@shahokyo.jp